

参考資料

I 資金運用に関する用語の解説

1 収益率

(1) 市場運用分の収益率（修正総合収益率）

① 修正総合収益率

総合収益率では、収益に時価の概念を導入しているが、これに加え、運用元本に時価の概念を導入して算定した収益率である。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられる。

【計算式】

$$\begin{aligned} \text{修正総合収益率} &= \{ \text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} \\ &+ \text{未収収益増減} (\text{当期末未収収益} - \text{前期末未収収益}) \\ &+ \text{評価損益増減} (\text{当期末評価損益} - \text{前期末評価損益}) \} \\ &/ (\text{運用元本平均残高} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益}) \end{aligned}$$

② 運用元本平均残高

期初の運用資産時価(※)に期中に発生した資金追加・回収(=キャッシュフロー)の加重平均を加えたもの。総合収益額を発生させた元手がいくらであったかを表す。

【計算式】

$$\begin{aligned} \text{運用元本平均残高} &= \text{期初の運用資産時価} + \text{キャッシュフローの加重平均} \\ \text{キャッシュフローの加重平均} &= \sum_i \\ &(\text{i番目のキャッシュフロー} \times \text{i番目のキャッシュフロー発生} \\ &\text{時から期末までの日数} / \text{期中の合計日数}) \end{aligned}$$

③ 総合収益率

総合収益率は、実現収益に、資産の時価評価による評価損益を加え、時価に基づく収益把握を行って算定。

【計算式】

$$\begin{aligned} \text{総合収益率} &= \{ \text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減} (\text{当期末未収収益} \\ &- \text{前期末未収収益}) + \text{評価損益増減} (\text{当期末評価損益} - \text{前期末} \\ &\text{評価損益}) \} / \text{運用元本平均残高} \end{aligned}$$

④ 総合収益額

時価による収益額。

売買損益及び利息・配当金収入という純粹に現金として期中に実現した収益に、当期において生じた将来確実に現金として得られる未収収益を加えるとともに、さらに、期中に増減した評価損益も運用の成果と捉えて収益に含めたもの。

【計算式】

$$\begin{aligned} \text{総合収益額} &= \text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} \\ &+ \text{未収収益増減} (\text{当期末未収収益} - \text{前期末未収収益}) \\ &+ \text{評価損益増減} (\text{当期末評価損益} - \text{前期末評価損益}) \end{aligned}$$

(2) 財投債引受け分の収益率（財投債の運用元本平均残高に対する収益額の比率）

① 財投債

財投機関債の発行が困難な財投機関（特殊法人等）に融資するために、財政融資資金特別会計が国の信用で発行する国債。財政投融资改革の経過措置として、平成19年度までは郵便貯金や年金積立金などがその一部を直接引き受けることとされていた。

② 財投債の収益額

財政融資資金特別会計から直接引き受けた財投債は、満期保有目的として管理しているため、償却原価法に基づく簿価による収益額。

③ 償却原価法（定額法）

債券を額面金額よりも低い金額又は高い金額で取得した場合、差額が発生し、これらの差額を償還期までに毎期、一定の方法で収益又は費用に加減する評価方法（定額法を用いる。）。

(3) 年金特別会計で管理する積立金（財政融資資金への預託）の収益率

【計算式】

$$\text{収益率} = \text{運用収入} \div \text{運用元本平均残高} \left(\left[\text{前年度末資産額} + (\text{当年度末資産額} - \text{収益額}) \right] \div 2 \right)$$

(4) 年金積立金全体の収益率

管理運用法人が管理する積立金と年金特別会計で管理する積立金を合わせて、積立金全体の運用元本平均残高（ $\{ \text{前年度末資産額} + (\text{当年度末資産額} - \text{収益額}) \} \div 2$ ）を求め、これに対する積立金全体の収益額の収益率。

(5) 相乗平均

相乗平均は、 n 個のデータを全て掛け合わせたものの n 乗根。

【計算式】

例えば3年平均の利回りを求める場合

$$\left\{ (1 + \text{1年目の利回り}) \times (1 + \text{2年目の利回り}) \times (1 + \text{3年目の利回り}) \right\} \text{の3乗根} - 1$$

(6) ベンチマーク収益率（ベンチマークの騰落率。いわゆる市場平均収益率。）

運用収益率の絶対値の高低による評価は、投資環境の違いを反映せず、運用期間が異なる場合に横並びの比較が不可能である。しかし、投資環境を反映する基準指標の騰落率に対してどの程度収益率が上回ったか（超過収益率）を算出することにより、運用期間の異なるものの横並び比較が可能となる。

ただし、ベンチマーク収益率は、市場平均収益率を示す理論値であるため、取引にかかる売買手数料などの取引コストは考慮されていない。

2 ベンチマーク

運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標。市場の動きを代表する指数を使用している。

① NOMURA-BPI 総合「除くABS」

野村証券金融工学研究センターが作成・発表している国内債券市場のベンチマーク。国内債券の代表的なベンチマークの1つであり、管理運用法人ではABSを除いたものをベンチマークとして採用。

(参考：NOMURA-BPI 総合)

(単位：兆円)

	国債	地方債	政府債	金融債	事業債	円建外債	MBS	ABS	合計
構成比	74.2%	7.0%	5.1%	1.8%	9.6%	0.8%	1.4%	0.1%	100%
残存額	448.22	42.15	30.97	11.17	57.84	4.94	8.19	0.84	604.33

残存額 (額面) 604 兆円 (2010年3月末)

残存年数 7.38年 (2010年3月末)

(出所)野村証券金融工学研究センター/金融市場調査部のホームページ。

<http://qr.nomura.co.jp/QR/index/BPI/repo/2010/BPI-201004-W.pdf>

② TOPIX (配当込み)

東京証券取引所が日々計算して発表している指数。東証第一部の基準時の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したもの。国内株式の代表的なベンチマークの1つであり、管理運用法人もベンチマークとして採用。

(東証一部)

時価総額 325 兆円 (2010年3月末) <http://www.tse.or.jp/market/data/value/index.html>

上場会社 1,680 社 (2010年3月末) <http://www.tse.or.jp/listing/companies/index.html>

(出所)東京証券取引所のホームページ。

③ シティグループ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成・発表している世界国債のベンチマーク。時価総額につき一定基準を満たす国の国債について、投資収益率を指数化したもの。国際債券投資の代表的なベンチマークの1つであり、管理運用法人も外国債券パッシブ運用のベンチマークとして採用。

シティグループ世界国債インデックス(「除く日本」、円ベース)の国別構成割合

(単位：%)

北米		欧州												その他			合計					
米 国	カナ ダ	ユーロ圏											イ ギ リ ス	ポ ー ラ ン ド	デ ン マ ー ク	ス ウ エ ー デ ン		ス イ ス	ノ ル ウ エ ー	オ ー ス ト ラ リ ア	マ レ ー シ ア	シ ン ガ ポ ー ル
		イ タ リ ア	ド イ ツ	フ ラ ン ス	ス ペ イ ン	ベ ル ギ ー	オ ラ ン ダ	ギ リ シ ヤ	オ ー ス ト リ ア	ポ ル ト ガ ル	ア イ ル ラ ン ド	フ イ ン ラ ン ド										
37.0	2.9	10.8	10.2	9.9	4.7	2.8	2.6	2.3	1.8	1.2	1.0	0.6	7.0	1.0	0.9	0.6	0.6	0.4	0.9	0.6	0.4	100

④ シティグループ世界BIG債券インデックス (除く日本円、ヘッジなし・円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成・発表している世界債券のベンチマーク。国債に加え、米ドル、ユーロ及び英ポンドについては政府機関債、担保付証券及び社債を含む。国際債券投資の代表的なベンチマークの1つであり、管理運用法人も外国債券アクティブ運用のベンチマークとして採用。

⑤ MSCI KOKUSAI (円ベース、配当込み、管理運用法人の配当課税要因考慮後)

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が作成・発表している日本を除く先進国で構成された世界株指数。対象国の包括性、切り口の多様性等の点で国際株式投資の代表的なベンチマークの1つであり、管理運用法人もベンチマークとして採用。

なお、管理運用法人が管理運用する外国株式に係る配当については、日本政府と各国政府の租税条約等に基づき、非課税・軽減税率等が適用されている。このため、管理運用法人の運用パフォーマンスをより適切に評価する観点から、平成22年4月より、従来使用していた配当課税前指数(GROSS)から、管理運用法人の配当課税要因考慮後指数に変更(平成21年度業務概況書に計上される平成17年度以降のデータから変更)。

MSCI-KOKUSAI(円ベース)の国別構成割合

(単位:%)

北米		欧州												その他				合計				
米国	カナダ	ユーロ圏											イギリス	スイス	スウェーデン	デンマーク	ノルウェー		オーストラリア	香港	シンガポール	ニュージーランド
		フランス	ドイツ	スペイン	イタリア	オランダ	フィンランド	ベルギー	ギリシャ	オーストリア	ポルトガル	アイルランド										
54.7	5.6	5.4	4.0	2.0	1.7	1.3	0.6	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	10.7	4.0	1.4	0.5	0.4	4.4	1.2	0.8	0.1	100

⑥ TDB現先

TDB(Treasury Discount Bills)とは、国庫短期証券のことであり、平成21年2月以降、従前の政府短期証券(FB)と割引短期国債(TB)が統合発行されることになった証券。

TDB現先とは、国庫短期証券を一定期間後に一定価格で買い戻す(売り戻す)ことをあらかじめ約束して行う売買取引をいい、TDB現先1ヶ月の利回りを基に指数化したものを管理運用法人の短期資産のベンチマークとしている。

II 図表データ

(参考1) 年金積立金管理運用独立行政法人の運用結果

1. 平成21年度の損益合計額について(単年度)

(1) 損益合計 (①~⑤)	9兆1,500億円	}	9兆1,573億円
① 市場運用分の総合収益額	8兆8,938億円 (9.55%)		
② 引受財投債の収益額	2,912億円 (1.26%)		
③ 合計 (①+②)	91,850億円 (7.91%)		
④ 運用手数料等	△277億円		
⑤ 承継資金運用勘定借入利息等	△73億円		

(2) 各勘定の損益

厚生年金勘定	8兆6,008億円	}	9兆1,288億円	}	9兆1,573億円
国民年金勘定	5,280億円				
承継資金運用勘定	284億円	}	212億円		
承継資金運用勘定借入利息等	△73億円				

2. 平成21年度までの運用収益の累積額

年金積立金管理運用独立行政法人の累積損益 7兆1,592億円

(単位: 億円)

年 度	単年度収益		累積損益 (①)	年金特別会計 への納付金		会計上の 累積損益 (①-②)
	収益額	収益率		納付金	累積額 (②)	
平成13年度	-13,084	-1.80%	-29,976	4年度 133	133	-30,109
14年度	-30,608	-5.36%	-60,584	-	133	-60,717
15年度	44,306	8.40%	-16,278	-	133	-16,411
16年度	22,419	3.39%	6,141	-	133	6,008
17年度	86,811	9.88%	92,952	8,122	8,255	84,697
18年度	37,608	3.70%	130,562	19,611	27,866	102,697
19年度	-56,455	-4.59%	74,108	13,017	40,883	33,225
20年度	-94,015	-7.57%	-19,908	17,936	58,819	-78,727
21年度	91,500	7.91%	71,592	-	58,819	12,773
合 計	88,482. 【71,592】	(通期9年) 1.36%		58,819		

(注1) 平成13年度の累積損益は、旧年金福祉事業団から承継した累積利差損益(-1兆7,025億円)を含み、平成4年度の年金特別会計への納付金(133億円)を加えた額である。

(注2) 平成18年度の累積損益及び会計上の累積損益は、平成18年4月の年金積立金管理運用独立行政法人の設立に際し、資産の評価替えに伴う評価増(3億円)を含む。

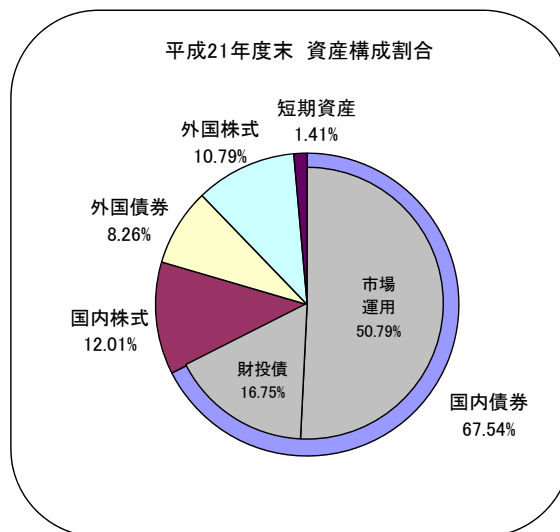
(注3) 会計上の累積損益は、累積損益から、特別会計への納付金を控除した額である。

(注4) 平成13年度から平成21年度までの単年度収益の合計は88,482億円であるが、上記(注1、注2)を加味したものが、平成21年度の累積損益(7兆1,592億円)である。

3. 運用資産の構成状況（平成21年度末）

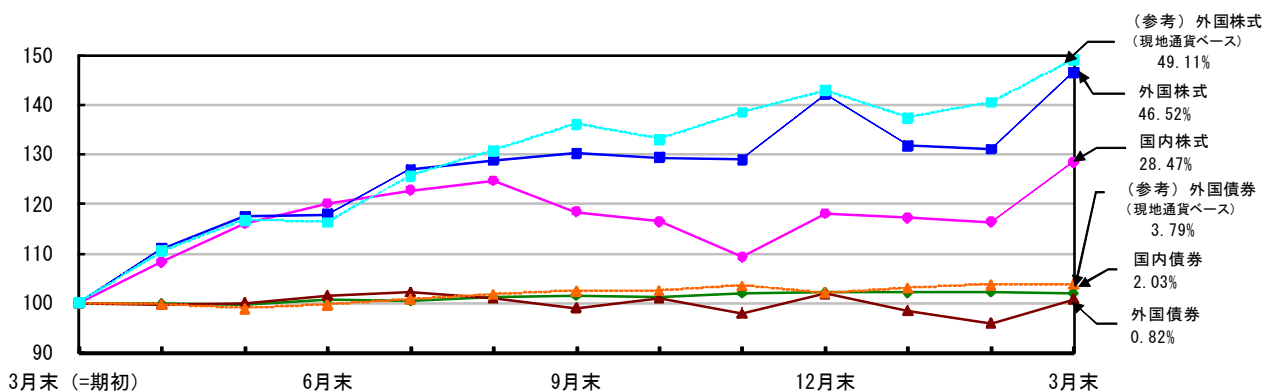
平成21年度末（平成22年3月末）

	時価総額 (億円)	構成割合	(参考) 年金積立金全 体の構成割合
国内債券	829,679	67.54%	65.08%
市場運用	623,923	50.79%	48.94%
財投債 (簿価)	205,756	16.75%	16.14%
	(211,926)	-	-
国内株式	147,497	12.01%	11.57%
外国債券	101,449	8.26%	7.96%
外国株式	132,523	10.79%	10.39%
短期資産	17,277	1.41%	5.00%
合計	1,228,425	100.00%	100.00%



(注1) 四捨五入のため、各数値の合算は合計と必ずしも一致しない。
(注2) 時価総額欄の金額は未収収益及び未払費用を考慮した額である。
(注3) 財投債の簿価欄は償却原価法による簿価に、未収収益を含めた額である。

(参考1：ベンチマーク収益率の推移（平成21年度）)



※平成21年3月末（期初）を100としたベンチマークインデックスの推移

○ベンチマーク収益率（平成21年4月～22年3月）

国内債券 (NOMURA-BPI「除くABS」)	2.03%
国内株式 (TOPIX配当込み)	28.47%
外国債券 (円ベース) 複合インデックス収益率 (注1)	0.82%
(シティグループWGBI (除く日本、ヘッジなし・円ベース))	0.18%
(シティグループWBI (除く日本円、ヘッジなし・円ベース))	2.42%
(参考) (現地通貨ベース) 複合インデックス収益率	3.79%
外国株式 (MSCI KOKUSAI (円ベース、配当込み)) (注2)	46.52%
(参考) (現地通貨ベース) (MSCI KOKUSAI) (注2)	49.11%

(注1) シティグループ世界国債インデックス (略称WGBI) (除く日本、ヘッジなし・円ベース。以下同じ。) 及び世界B1G債券インデックス (略称WBI) (除く日本円、ヘッジなし・円ベース。以下同じ。) の複合インデックス (パッシブ運用部分については世界国債インデックス及びアクティブ運用部分については世界B1G債券インデックスそれぞれの運用金額による構成比で加重平均したもの)。

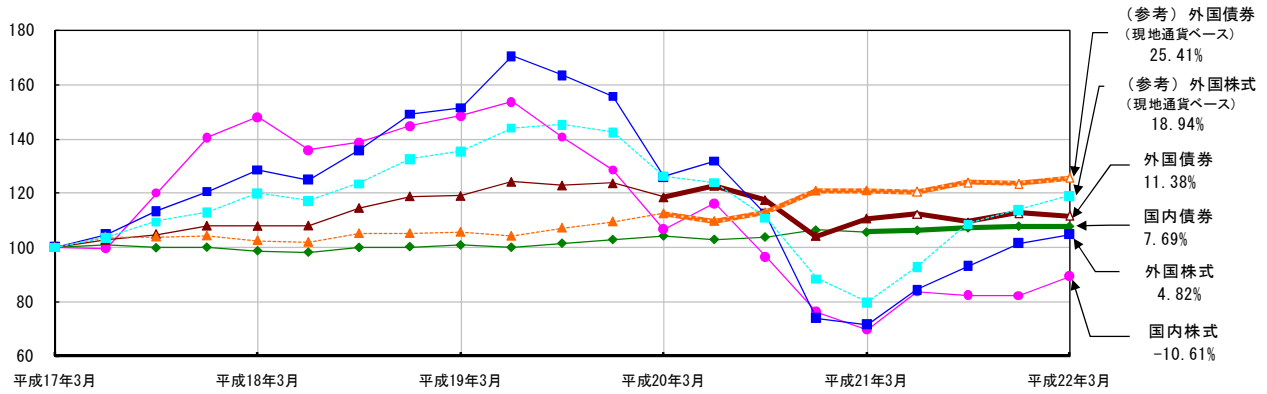
(注2) MSCI KOKUSAI (円ベース、配当込み) は、MSCI KOKUSAI (円ベース、配当込み、管理運用法人の配当課税要因考慮後) で算出したもの。

○参考指標

	平成21年3月末	平成22年3月末
国内債券 (新発10年国債利回り)	1.35%	1.39%
国内株式 (TOPIX 配当なし)	773.66\$ イント	978.81\$ イント
(日経平均株価)	8,109.53円	11,089.94円
外国債券 (米国10年国債利回り)	2.71%	3.84%
(ドイツ10年国債利回り)	3.00%	3.10%
外国株式 (NYダウ)	7,608.92\$	10,856.63\$
(ドイツイダックス指数)	4,084.76\$ イント	6,153.55\$ イント
為替 (注2) (ドル/円)	98.77円	93.44円
(ユーロ/円)	131.14円	126.43円

(注3) 為替レートはWMMロイター社ロンドン16時仲値 (対米ドル) を採用しています。

(参考2：直近5年間の累積ベンチマーク収益率の推移(平成17年度～平成21年度))



※平成17年3月末(期初)を100としたベンチマークインデックスの推移

○ベンチマーク収益率

	平成17年4月～平成22年3月	
	期間率	年率
国内債券 (NOMURA-BPI) (注1)	7.69%	1.49%
国内株式 (TOPIX配当込み)	-10.61%	-2.22%
外国債券 (円ベース) (注2)	11.38%	2.18%
(参考) (現地通貨ベース)	25.41%	4.63%
外国株式 (MSCI KOKUSAI (円ベース、配当込み))	4.82%	0.95%
(参考) (現地通貨ベース) (MSCI KOKUSAI)	18.94%	3.53%

(注1) 平成20年4月からNOMURA-BPI総合に新たに資産担保証券 (ABS) が組み入れられました。同月以降のベンチマークは、同年3月までのNOMURA-BPI総合と同じく、ABSを含まないNOMURA-BPI「除くABS」としていません。

(注2) 平成18年度まではシティグループ世界国債インデックス (除く日本)。19年度からはシティグループ世界国債インデックス (除く日本) とシティグループ世界BIG債券インデックス (除く日本円) との複合インデックス収益率としています。

○参考指標

		平成17年3月末	平成22年3月末
国内債券	(新発10年国債利回り)	1.32%	1.39%
国内株式	(TOPIX 配当なし)	1,182.18 ^円 イント	978.81 ^円 イント
	(日経平均株価)	11,668.95 ^円	11,089.94 ^円
外国債券	(米国10年国債利回り)	4.48%	3.84%
	(ドイツ10年国債利回り)	3.65%	3.10%
外国株式	(NYダウ)	10,503.76 ^{ドル}	10,856.63 ^{ドル}
	(ドイツDAX指数)	4,348.77 ^{ユーロ} イント	6,153.55 ^{ユーロ} イント
為替 (注3)	(ドル/円)	106.96 ^円	93.44 ^円
	(ユーロ/円)	139.01 ^円	126.43 ^円

(注3) 為替レートはWMロイター社ロンドン16時仲値 (対米ドル) を採用しています。

(参考2) 年金積立金管理運用独立行政法人の貸借対照表と損益計算書 (概略版)

貸借対照表 (平成22年3月31日)						
(資産の部)						(単位:億円)
	総合勘定	厚年勘定	国年勘定	承継勘定	調整	法人全体
資産	1,228,442	1,182,665	74,007	-28,366	-1,228,306	1,228,442
金銭等の信託	1,228,425					1,228,425
固定資産等	18					18
未収金(当期分配金収入)		86,008	5,280	284	-91,573	
総合勘定へ繰入		1,096,656	68,727	-28,650	-1,136,733	
資産合計	1,228,442	1,182,665	74,007	-28,366	-1,228,306	1,228,442
(負債・純資産の部)						(単位:億円)
	総合勘定	厚年勘定	国年勘定	承継勘定	調整	法人全体
負債	1,228,441	1,142,260	71,752	1,521	-1,228,306	1,215,668
未払金(当期分配金収入等)	91,702				-91,573	129
各勘定より受入	1,136,733				-1,136,733	
退職給付引当金	6					6
運用寄託金		1,142,260	71,752			1,214,011
長期借入金				1,521		1,521
資本金	1					1
政府出資金	1					1
利益剰余金(又は繰越欠損金)		40,405	2,256	-29,887		12,773
前期繰越欠損金		-45,603	-3,024	-30,099		-78,727
当期総利益		86,008	5,280	212		91,500
負債純資産合計	1,228,442	1,182,665	74,007	-28,366	-1,176,199	1,228,442
損益計算書 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)						
						(単位:億円)
	総合勘定	厚年勘定	国年勘定	承継勘定	調整	法人全体
経常収益(①)	91,852			2		91,853
資産運用損益等	91,852			2		91,853
経常費用(②)	279			74		353
資産運用業務費	273					273
一般管理費	6					6
借入金利息				74		74
						0
経常利益(③(①-②))	91,573			-73		91,500
各勘定へ分配金繰入(④)	-91,573					-91,573
総合勘定分配金収入(⑤)		86,008	5,280	284		91,573
当期総利益(③-④+⑤)		86,008	5,280	212		91,500

(注1) 調整の列には、各勘定の合計に際し、各勘定間の取引によって生じる重複額を相殺するため、調整額を計上。
(注2) 承継勘定に対する総合勘定からの融通資金については、勘定間で重複することから計上しない。

(参考3) 年金積立金額の推移 (簿価)

(単位：億円)

年 度	厚生年金	国民年金	合 計
平成元年度末	702,175	32,216	734,391
2年度末	768,605	36,317	804,922
3年度末	839,970	43,572	883,542
4年度末	911,340	51,275	962,615
5年度末	978,705	58,468	1,037,174
6年度末	1,045,318	63,712	1,109,030
7年度末	1,118,111	69,516	1,187,628
8年度末	1,184,579	78,493	1,263,072
9年度末	1,257,560	84,683	1,342,243
10年度末	1,308,446	89,619	1,398,065
11年度末	1,347,988	94,617	1,442,605
12年度末	1,368,804	98,208	1,467,012
13年度末	1,373,934 (1,345,967)	99,490 (97,348)	1,473,424 (1,443,315)
14年度末	1,377,023 (1,320,717)	99,108 (94,698)	1,476,132 (1,415,415)
15年度末	1,374,110 (1,359,151)	98,612 (97,160)	1,472,722 (1,456,311)
16年度末	1,376,619 (1,382,468)	96,991 (97,151)	1,473,610 (1,479,619)
17年度末	1,324,020 (1,403,465)	91,514 (96,766)	1,415,534 (1,500,231)
18年度末	1,300,980 (1,397,509)	87,660 (93,828)	1,388,640 (1,491,337)
19年度末	1,270,568 (1,301,810)	82,692 (84,674)	1,353,260 (1,386,485)
20年度末	1,240,188 (1,166,496)	76,920 (71,885)	1,317,108 (1,238,381)
21年度末	1,195,052 (1,207,568)	74,822 (75,079)	1,269,874 (1,282,647)

(注1) 国民年金の積立金の残高は、基礎年金勘定分を除いた額である。

(注2) 厚生年金の積立金は特別会計の積立金であり、厚生年金基金の代行部分は含まれていない。

(注3) 平成13年度以降の積立金には、年金積立金管理運用独立行政法人（平成17年度までは旧年金資金運用基金年金）への寄託分を含む。

また、()は、年金積立金管理運用独立行政法人（平成17年度までは旧年金資金運用基金年金）における運用収益を加えた時価ベースの積立金の額である。

(注4) 上記の数値は四捨五入のため、合算した数値は一致しない場合がある。

(参考4) 年金積立金額の増減 (時価ベース)

(単位：億円)

年 度	厚生年金	国民年金	合 計	増 減	運用収入を除く積立金の増減	
					運用収入	(注2)
平成13年度末	1,345,967	97,348	1,443,315	-23,697	27,787	-51,484
平成14年度末	1,320,717	94,698	1,415,415	-27,901	2,360	-30,260
平成15年度末	1,359,151	97,160	1,456,311	40,897	68,714	-27,817
平成16年度末	1,382,468	97,151	1,479,619	23,307	39,588	-16,280
平成17年度末	1,403,465	96,766	1,500,231	20,612	98,344	-77,732
平成18年度末	1,397,509	93,828	1,491,337	-8,894	45,669	-54,563
平成19年度末	1,301,810	84,674	1,386,485	-104,852	-51,777	-53,075
平成20年度末	1,166,496	71,885	1,238,381	-148,104	-93,176	-54,928
平成21年度末	1,207,568	75,079	1,282,647	44,266	91,554	-47,287

(注1) 年金特別会計の積立金に、年金積立金管理運用独立行政法人(平成17年度までは旧年金資金運用基金年金)における運用収益を加えた時価ベースの積立金の額である。

(注2) 平成13年度末の「運用収入を除く積立金の増減」には、旧年金福祉事業団から承継した累積利差損益(-17,025億円)を含み、これを除けば-34,458億円となる。

(注3) 上記の数値は四捨五入のため、合算した数値は一致しない場合がある。

(参考5) 基本ポートフォリオ

1. 基本ポートフォリオ（平成17年度～平成21年度）

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産
資産構成割合	67%	11%	8%	9%	5%
乖離許容幅	±8%	±6%	±5%	±5%	—

(注) 平成22年4月からの第2期中期計画における基本ポートフォリオについては、平成22年3月に厚生労働大臣から示された第2期中期目標を踏まえ、第1期中期計画における基本ポートフォリオの市場関連データを更新したリスク・リターンデータを用い、引き続き、安全・効率的かつ確実であることを検証し、第1期中期計画における基本ポートフォリオを第2期中期計画における基本ポートフォリオと定めた。

2. 年度末資産構成割合の推移

(単位:%)

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産
平成13年度末	89.8	4.1	0.8	2.3	3.1
平成14年度末	87.4	4.5	1.6	2.8	3.8
平成15年度末	81.4	7.3	2.4	3.6	5.2
平成16年度末	79.3	7.6	3.6	5.0	4.5
平成17年度末	71.9	11.8	4.7	6.7	5.0
平成18年度末	68.1	12.2	5.8	8.1	5.9
平成19年度末	70.1	9.7	6.8	7.7	5.8
平成20年度末	69.9	9.2	8.1	7.3	5.5
平成21年度末	64.6	11.5	7.9	10.3	5.7

(参考) 平成16年財政再計算の経済前提

物価上昇率 長期（平成21年以降） 1.0%
 賃金上昇率 長期（平成21年度以降） 2.1%（実質 1.1%）
 運用利回り 長期（平成21年度以降） 3.2%（実質的な運用利回り 1.1%）

(単位:%)

	平成18 (2006)	平成19 (2007)	平成20 (2008)	平成21以降 (2009)
物価上昇率	1.2	1.5	1.9	1.0
賃金上昇率 [実質]	2.0 [0.8]	2.3 [0.8]	2.7 [0.8]	2.1[1.1]
運用利回り [実質(対賃金上昇率)]	2.3 [0.3]	2.6 [0.3]	3.0 [0.3]	3.2[1.1]

注1：物価上昇率は各年の数値、賃金上昇率及び運用利回りは各年度の数値を記載。

注2：運用利回りは自主運用分の利回りの前提である。平成19年度までの運用利回りは、これに財投預託分の運用利回り（平成14年度末の預託実績より算出）を勘案した数値となる。

(参考6) 年金積立金管理運用独立行政法人の各種資料

(1) 運用資産額・資産構成割合の推移

(単位:億円)

	平成13年度末		平成14年度末		平成15年度末		平成16年度末		平成17年度末		平成18年度末		平成19年度末	
	運用資産額	構成比	運用資産額	構成比	運用資産額	構成比	運用資産額	構成比	運用資産額	構成比	運用資産額	構成比	運用資産額	構成比
国内債券	262,811	68.1%	348,424	69.4%	474,814	67.5%	608,573	69.8%	655,780	63.7%	737,522	64.4%	855,237	71.3%
市場運用	143,673	37.2%	162,269	32.3%	252,012	35.8%	322,115	36.9%	349,242	33.9%	441,997	38.6%	569,443	47.5%
財投債(簿価)	119,138	30.9%	186,155	37.1%	222,801	31.7%	286,458	32.8%	306,538	29.8%	295,525	25.8%	285,794	23.8%
国内株式	68,251	17.7%	73,818	14.7%	120,019	17.1%	124,234	14.2%	189,789	18.4%	190,676	16.6%	137,923	11.5%
外国債券	13,459	3.5%	25,458	5.1%	39,520	5.6%	57,923	6.6%	75,515	7.3%	90,694	7.9%	96,641	8.1%
外国株式	38,203	9.9%	44,676	8.9%	59,255	8.4%	81,500	9.3%	107,617	10.5%	126,376	11.0%	109,057	9.1%
短期資産	3,291	0.9%	9,766	1.9%	9,804	1.4%	49	0.0%	13	0.0%	10	0.0%	9	0.0%
合計	386,014	100.0%	502,143	100.0%	703,411	100.0%	872,278	100.0%	1,028,714	100.0%	1,145,278	100.0%	1,198,868	100.0%

	平成20年度末		平成21年度末	
	運用資産額	構成比	運用資産額	構成比
国内債券	869,775	73.9%	829,679	67.5%
市場運用	618,887	52.6%	623,923	50.8%
財投債(簿価)	250,888	21.3%	205,756	16.7%
国内株式	113,986	9.7%	147,497	12.0%
外国債券	100,135	8.5%	101,449	8.3%
外国株式	90,781	7.7%	132,523	10.8%
短期資産	1,608	0.1%	17,277	1.4%
合計	1,176,286	100.0%	1,228,425	100.0%

(注1) 財投債は、未収収益を考慮した償却原価法による簿価額。

(注2) 上記の数値は四捨五入のため、合算した数値は一致しない場合がある。

(2) パッシブ運用及びアクティブ運用の割合の推移（市場運用分）

	平成13年度末	平成14年度末	平成15年度末	平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末
国内債券	パッシブ	50.7%	61.4%	75.5%	78.6%	79.9%	80.9%	82.3%	83.1%
	アクティブ	49.3%	38.6%	24.5%	21.4%	20.1%	19.1%	17.7%	16.9%
国内株式	パッシブ	44.2%	70.8%	77.0%	76.9%	76.2%	76.4%	75.7%	75.3%
	アクティブ	55.8%	29.2%	23.0%	23.1%	23.8%	23.6%	24.3%	24.7%
外国債券	パッシブ	71.4%	76.9%	73.3%	72.4%	72.0%	72.3%	71.7%	70.9%
	アクティブ	28.6%	23.1%	26.7%	27.6%	28.0%	27.7%	28.3%	29.1%
外国株式	パッシブ	53.3%	79.0%	81.6%	79.9%	79.7%	82.9%	85.4%	85.6%
	アクティブ	46.7%	21.0%	18.4%	20.1%	20.3%	17.1%	14.7%	14.4%
合計	パッシブ	50.1%	65.5%	74.9%	77.8%	78.1%	79.5%	80.5%	79.7%
	アクティブ	49.9%	34.5%	25.1%	22.2%	21.9%	20.5%	19.5%	20.3%

(3) 運用手数料の推移

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
運用手数料額	293億円	176億円	183億円	223億円	264億円	309億円	343億円	288億円	258億円
平均残高	26.3兆円	30.9兆円	40.7兆円	50.4兆円	59.2兆円	107.7兆円	120.2兆円	119.6兆円	123.9兆円
運用手数料率	0.11%	0.06%	0.04%	0.04%	0.04%	0.03%	0.03%	0.02%	0.02%

(注1) 平成17年度までの平均残高は、投下元本平均残高。

(注2) 平成17年度より自家運用の資産管理を外部委託したことから、国内債券パッシブファンド、国内債券アクティブファンド及び財投債ファンドを含まない。
なお、財投債ファンドについては償却原価法による簿価の平均残高を用いている。

(注3) 平成18年度以降の平均残高は、月末時価平均残高。なお、財投債ファンドについては償却原価法による簿価の平均残高。

(4) 運用収益額の推移

(単位:億円)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	合計
市場運用分	-6,564	-25,877	47,225	23,843	86,795	36,404	-58,400	-96,670	88,938	95,694
国内債券	(注1) 1,179	6,372	-3,452	6,415	-4,832	8,701	17,165	8,700	12,279	52,526
国内株式	-10,174	-20,452	39,869	2,119	63,437	889	-53,323	-50,613	33,510	5,262
外国債券	545	2,882	-105	5,222	4,843	8,002	-483	-6,213	1,315	16,007
外国株式	1,931	-14,680	10,912	10,087	23,348	18,804	-21,765	-48,547	41,824	21,912
短期資産	-44	1	1	0	0	8	6	3	10	-14
財 投 債 (注7)	690	1,347	1,691	2,284	2,824	3,042	3,222	3,189	2,912	21,200
小 計	-5,874	-24,530	48,916	26,127	89,619	39,445	-55,178	-93,481	91,850	116,893
運用手数料等 (注3)	-308	-184	-193	-232	(注3) -271	-91	-352	-307	-277	-2,214
借入金利息	-6,902	-5,893	-4,417	-3,476	-2,537	-1,747	-925	-227	-73	-26,197
合 計	-13,084	-30,608	44,306	22,419	86,811	37,608	-56,455	-94,015	91,500 (注5)	88,482

累積収益額 (注2)	-29,976	-60,584	-16,278	6,141	92,952	(注4) 130,562	74,108	-19,908	(注5) 71,592	-
年金特別会計への納付額	平成4年度 133				8,122	19,611	13,017	17,936		58,819
会計上の累積収益額 (注6)	-30,109	-60,717	-16,411	6,008	84,697	(注4) 102,697	33,225	-78,727	12,773	-

(注1) 平成13年度の国内債券は、転換社債による収益額(-219億円)を含む。

(注2) 平成13年度の累積収益額は、旧年金福祉事業団の累積利益差損益(-17,025億円)を含み、平成4年度の年金特別会計への納付金(133億円)を加えた額である。

(注3) 運用手数料には、運用手数料のほか業務経費や一般管理費を含む。

(注4) 平成18年度の運用収益額には、平成18年4月の管理運用法人の設立に際し、独立行政法人会計基準に基づき、有形固定資産の時価評価等を行ったことによる資産額の評価増分(3億円)を含む。

(注5) 平成13年度から平成21年度の運用収益額の合計は88,482億円であるが、これに(注2)と(注4)を加味したものが、平成21年度の累積収益額(71,592億円)である。

(注6) 会計上の累積収益額は、累積収益額から、年金特別会計への納付金を差し引いた額である。

(注7) 財投債は、未収収益を考慮した償却原価法による簿価額。

(注8) 上記の数値は四捨五入のため、合算した数値は一致しない場合がある。

(5) 収益率の推移

【市場運用】

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	過去5年平均 (17~21年度)	通期平均(9年) (13~21年度)
修正総合収益率	-2.48%	-8.46%	12.48%	4.60%	14.37%	4.75%	-6.41%	-10.03%	9.55%	2.02%	1.67%
時間加重収益率	-2.65%	-8.63%	13.01%	4.43%	14.37%	4.56%	-6.10%	-10.04%	9.58%	2.05%	1.68%
国内債券	0.87%	4.19%	-1.82%	2.13%	-1.40%	2.18%	3.31%	1.35%	1.98%	1.47%	1.40%
国内株式	-17.05%	-25.41%	50.30%	1.64%	50.14%	0.47%	-27.97%	-35.55%	29.40%	-1.95%	-1.71%
外国債券	6.20%	15.23%	0.20%	11.42%	7.71%	10.19%	-0.32%	-6.75%	1.32%	2.25%	5.11%
外国株式	3.67%	-32.23%	23.76%	15.43%	28.20%	17.50%	-17.10%	-43.21%	46.11%	0.71%	0.44%

【財投債】

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	過去5年平均 (17~21年度)	通期平均(9年) (13~21年度)
収益率	1.13%	0.89%	0.83%	0.90%	0.93%	1.01%	1.10%	1.18%	1.26%	1.10%	1.03%

【運用資産全体】

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	過去5年平均 (17~21年度)	通期平均(9年) (13~21年度)
収益率	-1.80%	-5.36%	8.40%	3.39%	9.88%	3.70%	-4.59%	-7.57%	7.91%	1.63%	1.36%

- (注1) 収益率は、運用手数料及び借入金利息等控除前。
(注2) 運用資産全体の収益率は、市場運用分(時価)と財投債(簿価)の元本平均残高を加重平均して算出。
(注3) 財投債の収益率は、未収収益を考慮した償却原価法による簿価の収益額にかかる収益率。

(6) 超過収益率の推移

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	過去5年平均 (17~21年度)	通期平均(9年) (13~21年度)
国内債券	時間加重収益率	4.19%	-1.82%	2.13%	-1.40%	2.18%	3.31%	1.35%	1.98%	1.47%	1.40%
	ベンチマーク収益率	0.95%	4.26%	-1.74%	2.09%	-1.40%	2.17%	3.36%	2.03%	1.49%	1.44%
	超過収益率	-0.08%	-0.07%	-0.07%	0.04%	0.00%	0.01%	-0.05%	-0.01%	-0.05%	-0.02%
国内株式	時間加重収益率	-17.05%	-25.41%	50.30%	1.64%	50.14%	0.47%	-35.55%	29.40%	-1.95%	-1.71%
	ベンチマーク収益率	-16.18%	-24.83%	51.13%	1.42%	47.85%	0.29%	-34.78%	28.47%	-2.22%	-1.62%
	超過収益率	-0.86%	-0.58%	-0.83%	0.22%	2.29%	0.18%	-0.77%	0.93%	0.27%	-0.08%
外国債券	時間加重収益率	6.20%	15.23%	0.20%	11.42%	7.71%	-0.32%	-6.75%	1.32%	2.25%	5.11%
	ベンチマーク収益率	8.12%	15.47%	0.15%	11.32%	7.73%	-0.44%	-6.56%	0.82%	2.18%	5.29%
	超過収益率	-1.92%	-0.24%	0.05%	0.10%	-0.02%	-0.04%	-0.19%	0.50%	0.07%	-0.19%
外国株式	時間加重収益率	3.67%	-32.23%	23.76%	15.43%	28.20%	-17.10%	-43.21%	46.11%	0.71%	0.44%
	ベンチマーク収益率	4.14%	-32.37%	24.70%	15.70%	28.31%	-16.92%	-43.42%	46.52%	0.78%	0.61%
	超過収益率	-0.47%	0.14%	-0.94%	-0.27%	-0.11%	-0.17%	0.21%	-0.41%	-0.07%	-0.18%
合計	時間加重収益率	-2.65%	-8.63%	13.01%	4.43%	14.37%	4.56%	-6.10%	9.58%	2.05%	1.68%
	複合ベンチマーク収益率	-1.48%	-8.44%	12.59%	4.56%	13.10%	4.62%	-6.25%	10.39%	1.75%	1.65%
	超過収益率	-1.17%	-0.19%	0.42%	-0.13%	1.27%	-0.06%	0.90%	-0.81%	0.30%	0.04%

(注1) 外国株式のベンチマークは、平成17年度以降、配当課税要因考慮後の指数。

(注2) 複合ベンチマーク収益率は、各資産のベンチマーク収益率を年金積立金管理運用独立行政法人の移行ポートフォリオを基に計算された資産構成割合で加重して求めた値。

(参考7) 年金積立金全体の運用収益の状況

年金積立金全体の運用収益の状況

	年金積立金管理運用独立行政法人				年金特別会計で管理する積立金の運用収益(預託金)		年金積立金全体の運用収益(①+②)		年金積立金全体の年度末資産額(注4)	
	運用収益(①)		累積収益	年金特別会計への納付金 平成4年度 133	会計上の累積収益	収益率	収益率	収益率	管理運用法人(注5)	
	収益率	収益								収益
平成13年度	-13,084	-1.80%	(注1) -29,976	平成4年度 133	-30,109	2.99%	27,787	1.94%	144.3兆円	38.6兆円
平成14年度	-30,608	-5.36%	-60,584		-60,717	2.75%	2,360	0.17%	141.5兆円	50.2兆円
平成15年度	44,306	8.40%	-16,278		-16,411	2.41%	68,714	4.90%	145.6兆円	70.3兆円
平成16年度	22,419	3.39%	6,141		6,008	2.06%	39,588	2.73%	148.0兆円	87.2兆円
平成17年度	86,811	9.88%	92,952	8,122	84,697	1.73%	98,344	6.83%	150.0兆円	102.9兆円
平成18年度	37,608	3.70%	(注2) 130,562	19,611	102,697	1.61%	45,669	3.10%	149.1兆円	114.5兆円
平成19年度	-56,455	-4.59%	74,108	13,017	33,225	1.45%	-51,777	-3.53%	138.6兆円	119.9兆円
平成20年度	-94,015	-7.57%	-19,908	17,936	-78,727	0.57%	-93,176	-6.86%	123.8兆円	117.6兆円
平成21年度	91,500	7.91%	71,592		12,773	0.09%	91,554	7.54%	128.3兆円	122.8兆円
合計	(注3) 88,482 [71,592]	(注4) 1.36%		58,819	-	(注5) 1.74%	229,062	(注6) 1.77%		

(注1) 年金積立金管理運用独立行政法人(以下、管理運用法人という。)の平成13年度の累積収益には、旧年金福祉事業団の累積利益差損益(-17,025億円)を含み、平成4年度の年金特別会計への納付金(133億円)を加えた額である。

(注2) 管理運用法人の平成18年度の累積収益には、平成18年4月の年金積立金管理運用独立行政法人の設立に際し、独立行政法人会計基準に基づき、有形固定資産の時価評価等を行ったことによる資産額の評価増分(3億円)を含む。

(注3) 管理運用法人の平成13年度から平成21年度の運用収益額の合計は88,482億円であるが、これに(注1)と(注2)を加味したものが、平成21年度の累積収益額(71,592億円)である。

(注4) 年金積立金全体の年度末資産額は、年金特別会計の厚生年金と国民年金の合計額である。

(注5) 管理運用法人の年度末資産額には、財政融資資金からの借入金額が含まれている。

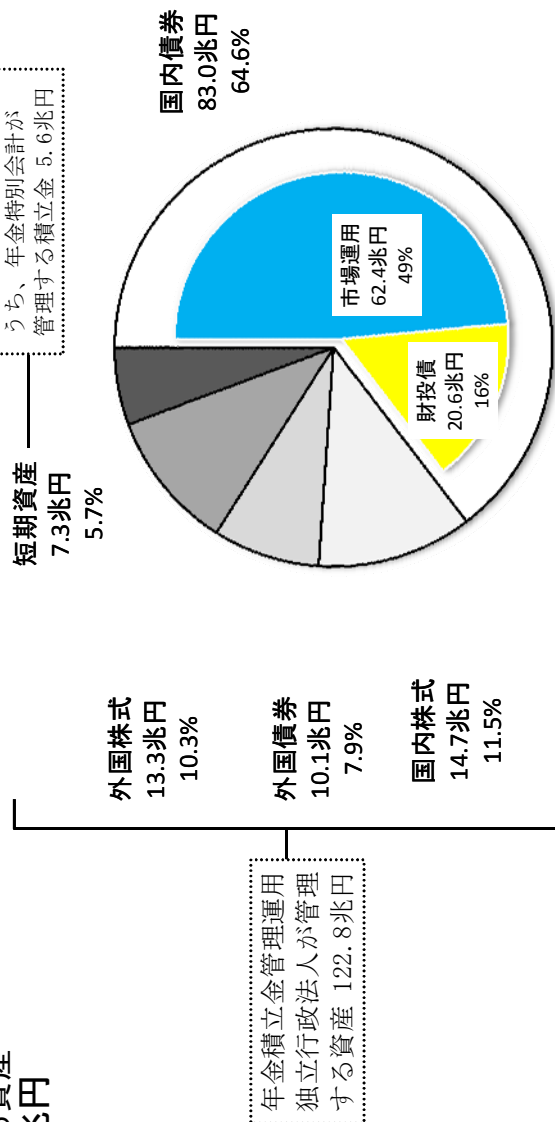
(注6) 上記の数値は四捨五入のため、合算した数値は一致しない場合がある。

(参考8) 年金積立金全体の運用資産の構成状況 (平成22年3月末現在)

1 年金積立金管理運用独立行政法人が管理する資産
122.8兆円

(内訳)	市場運用	引受財投資	時価総額	構成比
	1,022,668 億円	205,756 億円		
国内債券	829,679		829,679	67.5%
市場運用	623,923		623,923	50.8%
財 投 債	205,756		205,756	16.7%
国内株式	147,497		147,497	12.0%
外国債券	101,449		101,449	8.3%
外国株式	132,523		132,523	10.8%
短期資産	17,277		17,277	1.4%
合 計			1,228,425	100.0%

年金積立金全体の資産構成の状況



2 年金特別会計が管理する積立金 5.6兆円

合 計 (1 + 2) 128.4兆円

(控除) 年金積立金管理運用独立行政法人が承継した旧年金福祉事業団の旧大蔵省資金運用部からの借入金残高

年金積立金全体の資産額 (時価) 128.3兆円

(注1) 上記の数値は四捨五入のため、合算した数値は一致しない場合がある。
(注2) 財投債の時価総額は償却原価法による簿価を掲載。

(単位:億円)

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産	合計
年度末資産額	829,679	147,497	101,449	132,523	73,140	1,284,287
資産構成割合	64.6%	11.5%	7.9%	10.3%	5.7%	100.0%

(注1) 年度末資産額には、旧年金福祉事業団から承継した資産 (借入金) を含む。
(注2) 短期資産には、年金特別会計が管理する積立金を含む。

(参考9) 市場運用分の昭和61年度～平成21年度までの収益額及び収益率(運用手数料等控除後)の推移

旧年金福祉事業団	61年度 (1986)	62年度 (1987)	63年度 (1988)	元年度 (1989)	2年度 (1990)	3年度 (1991)	4年度 (1992)	5年度 (1993)	6年度 (1994)	7年度 (1995)	8年度 (1996)	9年度 (1997)	10年度 (1998)	11年度 (1999)	12年度 (2000)
収益額 (運用手数料等控除後)	333	435	2,922	806	2,582	2,596	7,865	8,996	-703	23,971	8,873	16,002	6,385	27,001	-14,671
収益率	16.85%	3.09%	8.06%	1.32%	2.93%	2.20%	5.22%	4.86%	-0.34%	11.03%	3.98%	7.06%	2.71%	11.10%	-5.72%

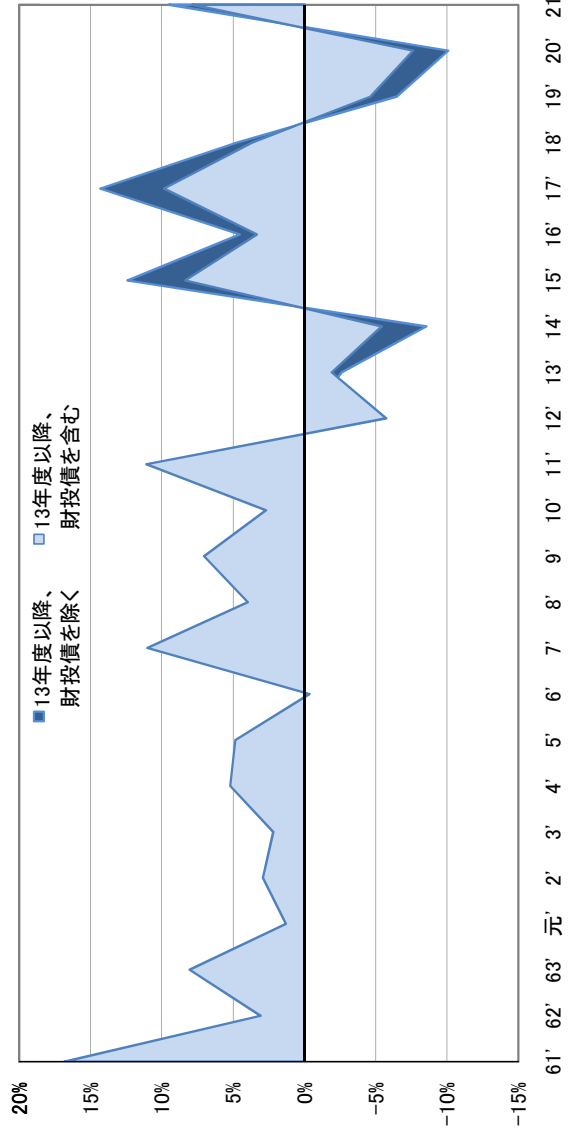
旧年金資金運用基金	13年度 (2001)	14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)
収益額 (運用手数料等控除後)	-6,182	-24,715	48,724	25,895	89,348
収益率	-1.90%	-5.40%	8.37%	3.36%	9.85%
収益額 (運用手数料等控除後)	-6,872	-26,062	47,032	23,611	86,524
収益率	-2.59%	-8.53%	12.43%	4.56%	14.33%

年金積立金管理運用 独立行政法人	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)
収益額 (運用手数料等控除後)	39,355	-55,530	-93,788	91,573
収益率	3.69%	-4.62%	-7.60%	7.89%
収益額 (運用手数料等控除後)	36,313	-58,752	-96,977	88,661
収益率	4.74%	-6.45%	-10.06%	9.52%

○ 市場運用分(財投債を含む・財投債を除く)の収益額・収益率
(運用手数料等控除後)

年金積立金管理運用独立行政法人(旧年金資金運用基金・旧年金福祉事業団)の市場運用分(平成13年度以降、財投債を含む場合・平成13年度以降、財投債を除く場合)の収益額から運用手数料等を控除したものである。(旧資金運用部からの借入金利息は含まれていない。)

市場運用分の収益率の推移



【平均収益率】

昭和61～21年度(24年間) 3.50% 3.61%

旧年金福祉事業団の資金運用
業務開始からの平均

平成2～21年度(20年間) 2.78% 2.92%

平成12～21年度(10年間) 0.60% 0.86%

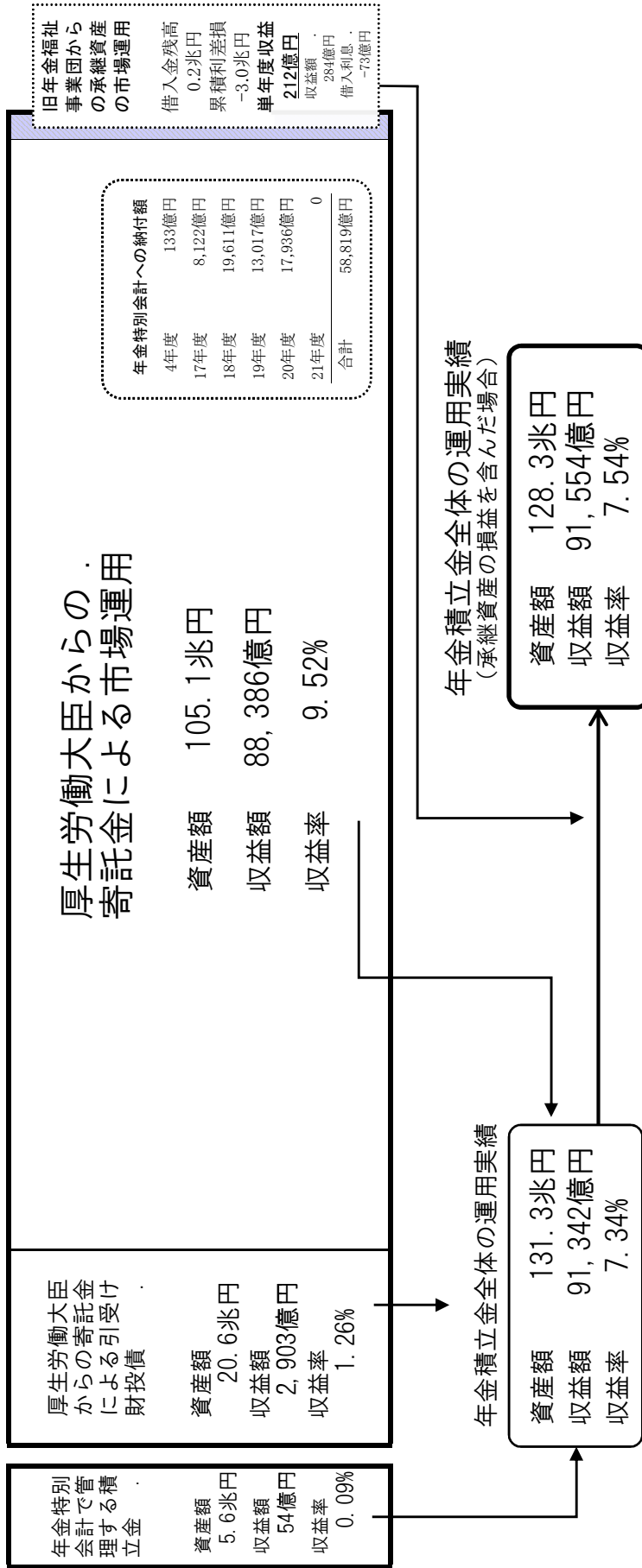
平成13～21年度(9年間) 1.33% 1.62%

(年金積立金の自主運用開始からの平均)

平成17～21年度(5年間) 1.61% 1.99%

年金積立金全体の運用資産

年金積立金管理運用独立行政法人の運用資産



(注1) 資産額は平成21年度末の値。
 (注2) 平成21年度末における年金積立金管理運用独立行政法人の累積収益は7兆1,592億円。
 なお、年金特別会計への納付金控除後の累積収益は1兆2,773億円 (年金特別会計への納付金累積額 5兆8,819億円)。

(参考 1 1) 厚生年金・国民年金の収支状況

(1) 年金特別会計 厚生年金勘定

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円
収入総額	297,886	308,884	311,022	328,477	385,740	354,996	360,830	364,217	380,079
[時価ベース]	[285,819]	[280,545]	[352,369]	[349,285]	[459,335]	[372,079]	[295,543]	[259,283]	[466,287]
保険料	199,360	202,034	192,425	194,537	200,584	209,835	219,691	226,905	222,409
国庫負担	38,164	40,036	41,045	42,792	45,394	48,285	51,659	54,323	77,983
運用収入	38,607	31,071	22,884	16,125	18,298	25,708	16,582	17,682	50
[時価ベース]	[26,541]	[2,731]	[64,232]	[36,934]	[91,893]	[42,790]	[△48,705]	[△87,252]	[86,258]
収入	(再掲 年金積立金管理運用独立行政法人納付金)	-	-	-	(7,522)	(18,253)	(12,238)	(16,858)	-
基礎年金交付金	15,566	14,240	13,921	16,060	19,474	19,989	18,832	18,797	19,935
国共済組合連合会等拠出金収入	327	273	372	383	384	385	347	328	269
積立金相当額納付金	1,621	17,243	1,727	1,374	1,382	2,567	-	-	-
職域等費用納付金	3,979	3,730	3,423	3,144	2,955	2,762	2,560	2,218	2,015
解散厚生基金等徴収金	-	-	34,965	53,854	34,568	6,800	5,552	3,486	1,905
積立金より受入	-	-	-	-	62,497	34,167	39,853	33,605	37,549
独立行政法人福祉医療機構納付金	-	-	-	-	-	-	5,402	6,401	3,933
その他	261	258	259	208	203	4,500	351	472	14,030
支出総額	292,818	305,878	314,401	326,118	376,068	343,975	351,451	361,078	387,813
給付費	196,228	203,466	208,140	215,380	219,863	222,541	223,179	225,961	237,500
基礎年金拠出金	93,048	98,961	102,986	107,874	112,831	119,224	126,233	133,162	148,176
その他	3,542	3,451	3,276	2,864	43,374	2,210	2,039	1,955	2,136
収支残	5,067	3,007	△ 3,379	2,359	9,672	11,021	9,378	3,139	△ 7,734
[時価ベース]	[△6,999]	[△25,333]	[37,968]	[23,167]	[83,267]	[28,103]	[△55,909]	[△101,795]	[78,474]
業務勘定から積立金への繰入	62	83	67	150	226	105	63	85	147
年度末積立金	1,373,934	1,377,023	1,374,110	1,376,619	1,324,020	1,300,980	1,270,568	1,240,188	1,195,052
[時価ベース]	[1,345,967]	[1,320,717]	[1,359,151]	[1,382,468]	[1,403,465]	[1,397,509]	[1,301,810]	[1,166,496]	[1,207,568]
前年度末からの増減	-	3,089	△ 2,913	2,509	△ 52,598	△ 23,040	△ 30,412	△ 30,380	△ 45,136
[時価ベース]	-	[△25,250]	[38,434]	[23,317]	[20,997]	[△5,956]	[△95,699]	[△135,314]	[41,072]
積立金運用利回り[時価ベース]	1.99%	0.21%	4.91%	2.73%	6.82%	3.10%	△3.54%	△6.83%	7.54%

○ 平成17年度以降の運用収入は、年金積立金管理運用独立行政法人納付金(平成17年度は年金積立金運用基金納付金)を含むものである。
 ○ 上記の[]内は、年金積立金管理運用独立行政法人における市場運用分について、株式等の評価損益も運用収入に含める時価ベースで評価したものであり、現金ベースの収支を示す厚生年金の特別会計の決算とは異なる。
 (時価ベースで評価した収支残に業務勘定から積立金への繰入を加え、積立金より受入を控除したものは、年金積立金の当年度の時価の増減額に一致。ただし、平成15年度については、さらに厚生年金基金の代行返上による物納399億円を含む。)なお、時価ベースの評価には、旧年金福祉事業団から承継した資産(承継資産)に係る損益を含めており、承継資産に係る損益の厚生年金・国民年金への按分は、厚生年金・国民年金の積立金の元本平均残高の比率により行っている。
 ○ 平成13年度は、旧森林年金分を含まない。
 ○ 平成18年度のその他収入には、旧年金積立金運用基金の解散に伴い、年金住宅融資回収金等が年金特別会計に承継されたことによる収入(4,282億円)が含まれている。
 ○ 平成21年度のその他収入には、特別保健福祉事業資金の精算に伴う繰延国庫負担額及び利子相当額の返還による業務勘定からの受入(13,480億円)が含まれている。
 ○ 平成21年度の収支状況は、平成21年度決算(平成22年8月公表)に基づき作成している。

特記事項

(2) 年金特別会計 国民年金勘定

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円
収入総額	60,389	58,224	57,677	55,709	61,175	59,165	55,729	54,144	51,347
[時価ベース]	[59,371]	[55,956]	[60,636]	[57,319]	[66,268]	[60,079]	[51,544]	[47,127]	[56,639]
保険料	19,538	18,958	19,627	19,354	19,480	19,038	18,582	17,470	16,950
国庫負担	14,307	14,565	14,963	15,219	17,020	17,971	18,436	18,558	20,554
運用収入	2,263	1,897	1,523	1,044	1,357	1,965	1,113	1,093	3
[時価ベース]	[1,246]	[△371]	[4,482]	[2,654]	[6,451]	[2,879]	[△3,073]	[△5,924]	[5,296]
(再掲 年金積立金管理運用独立行政法人納付金)	-	-	-	-	(600)	(1,358)	(779)	(1,078)	-
基礎年金交付金	24,245	22,771	21,534	20,076	18,763	17,108	15,772	14,863	13,534
積立金より受入	-	-	-	-	4,539	2,828	1,490	1,737	-
独立行政法人福祉医療機構納付金	-	-	-	-	-	-	298	353	217
その他	36	32	30	16	15	254	37	71	89
支出総額	59,205	58,709	58,177	57,416	62,245	60,358	59,322	58,344	53,598
給付費	25,133	23,819	22,293	20,888	19,527	18,149	16,862	15,779	14,773
基礎年金拠出金	32,871	33,693	34,853	35,437	38,976	41,002	41,151	41,218	37,389
その他	1,201	1,196	1,031	1,091	3,743	1,207	1,309	1,346	1,436
収支残	1,184	△485	△500	△1,707	△1,071	△1,194	△3,593	△4,199	△2,251
[時価ベース]	[167]	[△2,753]	[2,459]	[△96]	[4,023]	[△279]	[△7,779]	[△11,216]	[3,042]
業務勘定から積立金への繰入	98	103	3	87	131	169	115	164	153
年度末積立金	99,490	99,108	98,612	96,991	91,514	87,660	82,692	76,920	74,822
[時価ベース]	[97,348]	[94,698]	[97,160]	[97,151]	[96,766]	[93,828]	[84,674]	[71,885]	[75,079]
前年度末からの増減	-	△382	△497	△1,620	△5,478	△3,853	△4,968	△5,772	△2,098
[時価ベース]	-	[△2,650]	[2,462]	[△10]	[△384]	[△2,939]	[△9,153]	[△12,789]	[3,195]
積立金運用利回り[時価ベース]	1.29%	△0.39%	4.78%	2.77%	6.88%	3.07%	△3.38%	△7.29%	7.48%

○ 平成17年度以降の運用収入は、年金積立金管理運用独立行政法人納付金（平成17年度は年金資金運用基金納付金）を含むものである。
 ○ 上記の[]内は、年金積立金管理運用独立行政法人における市場運用分について、株式等の評価損益も運用収入に含める時価ベースで評価したものであり、現金ベースの収支を示す国民年金の特別会計の決算とは異なる。
 (時価ベースで評価した収支残に業務勘定より積立金への繰入を加え、積立金より受入を控除したものは、年金積立金の当年度の時価の増減額に一致。) なお、時価ベースの評価には、旧年金福祉事業団から承継した資産（承継資産）に係る損益を含めており、承継資産に係る損益の厚生年金・国民年金への按分は、厚生年金・国民年金の積立金の元本平均残高の比率により行っている。
 ○ 平成18年度のその他の収入には、旧年金資金運用基金の解散に伴い、年金住宅融資回収金等が年金特別会計に承継されたことによる収入（239億円）が含まれている。
 ○ 平成21年度の収支状況は、平成21年度決算（平成22年8月公表）に基づき作成している。

特記事項

(3) 年金特別会計 厚生年金勘定と国民年金勘定の合計

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円
収入総額	358,274	367,108	368,699	384,186	446,914	414,161	416,559	418,361	431,426
[時価ベース]	[345,191]	[336,500]	[413,005]	[406,605]	[525,603]	[432,158]	[347,086]	[306,410]	[522,926]
保険料	218,897	220,992	212,052	213,891	220,064	228,873	238,273	244,375	239,359
国庫負担	52,471	54,602	56,008	58,011	62,415	66,257	70,095	72,881	98,537
運用収入	40,870	32,968	24,407	17,169	19,656	27,672	17,695	18,775	54
[時価ベース]	[27,787]	[2,360]	[68,714]	[39,588]	[98,344]	[45,669]	[△51,777]	[△93,176]	[91,554]
収入	(再掲 年金積立金管理運用独立行政法人納付金)	-	-	-	(8,122)	(19,611)	(13,017)	(17,936)	-
基礎年金交付金	39,811	37,012	35,455	36,136	38,237	37,097	34,604	33,660	33,469
国共済組合連合会等拠出金収入	327	273	372	383	384	385	347	328	269
積立金相当額納付金	1,621	17,243	1,727	1,374	1,382	2,567	-	-	-
職域等費用納付金	3,979	3,730	3,423	3,144	2,955	2,762	2,560	2,218	2,015
解散厚生基金等徴収金	-	-	34,965	53,854	34,568	6,800	5,552	3,486	1,905
積立金より受入	-	-	-	-	67,036	36,995	41,344	35,342	37,549
独立行政法人福祉医療機構納付金	-	-	-	-	-	-	5,700	6,754	4,150
その他	296	290	289	224	218	4,755	388	543	14,120
支出総額	352,023	364,586	372,578	383,534	438,313	404,334	410,774	419,421	441,411
給付金	221,361	227,285	230,433	236,268	239,390	240,690	240,042	241,740	252,273
基礎年金拠出金	125,919	132,654	137,839	143,311	151,807	160,226	167,384	174,380	185,565
その他	4,743	4,647	4,306	3,954	47,117	3,417	3,348	3,301	3,572
収支残	6,251	2,522	△3,880	652	8,602	9,827	5,785	△1,060	△9,984
[時価ベース]	[△6,832]	[△28,086]	[40,427]	[23,071]	[87,290]	[27,824]	[△63,687]	[△113,011]	[81,516]
業務勘定から積立金への繰入	161	186	71	236	358	273	179	249	300
年度末積立金	1,473,424	1,476,132	1,472,722	1,473,610	1,415,534	1,388,640	1,353,260	1,317,108	1,269,874
[時価ベース]	[1,443,315]	[1,415,415]	[1,456,311]	[1,479,619]	[1,500,231]	[1,491,337]	[1,386,485]	[1,238,381]	[1,282,647]
前年度末からの増減	-	2,708	△3,410	888	△58,076	△26,894	△35,380	△36,153	△47,234
[時価ベース]	-	[△27,901]	[40,897]	[23,307]	[20,612]	[△8,894]	[△104,852]	[△148,104]	[44,266]
積立金運用利回り[時価ベース]	1.99%	0.21%	4.91%	2.73%	6.82%	3.10%	△3.54%	△6.83%	7.54%

○ 平成17年度以降の運用収入は、年金積立金管理運用独立行政法人納付金(平成17年度は年金資金運用基金納付金)を含むものである。
○ 上記の[]内は、年金積立金管理運用独立行政法人における市場運用分について、株式等の評価損益も運用収入に含める時価ベースで評価したものであり、現金ベースの収支を示す厚生年金の特別会計の決算とは異なる。
(時価ベースで評価した収支残に業務勘定から積立金への繰入を加え、積立金より受入を控除したものは、年金積立金の当年度の時価の増減額に一致。ただし、平成15年度については、さらに厚生年金基金の代行返上による物納399億円を含む。)なお、時価ベースの評価には、旧年金福祉事業団から承継した資産(承継資産)に係る損益(承継資産)に係る損益を含めており、承継資産に係る損益の厚生年金・国民年金への按分は、厚生年金・国民年金の積立金の元本平均残高の比率により行っている。
○ 平成21年度の収支状況は、平成21年度決算(平成22年8月公表)に基づき作成している。

特記事項

(参考 1 2) 海外の主な年金基金との比較

名称	OASDI (アメリカ)	CaIPERS (米)カリフォルニア州)	CPPIB (カナダ)	GPF-G (ノルウェー)	API~4 (スウェーデン)	厚生年金・国民年金 (日本)
	老齢・遺族・障害保険制度 (社会保険年金(ソーシャル・セキュリティ))	カリフォルニア州職員 退職年金基金	カナダ年金制度投資 委員会	政府年金基金(GPF-G) ノルウェー中央銀行投資 運用局(NBIM)	国民年金基金1~4	
概要	1935年に社会保険法により社会保険年金(ソーシャル・セキュリティ)が設立。資金は、米連邦政府財務省の会計で管理され、すべて米政府証券に投資されている。財務長官がソーシャル・セキュリティ信託基金の運営理事となる。	1932年州憲法により設立。カリフォルニア州政府職員に対する退職給付を目的とする。理事会と委員会が設置され、意思決定はこの2つの組織で行われる。	1997年カナダ年金制度投資委員会により設立。報酬比例の公的年金であるCPPの積立金の運用を目的とする。理事会と委員会が設置され、意思決定はこの2つの組織で行われる。	1990年政府年金基金法により設立。石油から得た利益を財源とし、国家財政と将来の年金給付金の支拂を目的とする。財務省の管理下にあり、中央銀行の内部組織であるNBIMが管理、運用を行っている。全資産を外国で運用することとされている。	各基金は加入者別の年金基金を母体としていたが、2001年の基金再編により、基金間の競争を促すとともに、市場への影響を軽減する目的で並列する組織として継続されることとなった。各AP基金とも国から独立しており、財務省が任命する理事会により統治される。	厚生年金及び国民年金の積立金を管理・運用する厚生労働省所管の独立行政法人。理事長は厚生労働省が任命。運用委員会は、おかれ、運用業務の審議・監視を行う。
資産残高	約236兆円 (21年12月末)	約20兆円 (22年3月末)	約12兆円 (22年3月末)	約43兆円 (22年3月末)	約11兆円(各基金約3兆円) (21年12月末)	約128兆円 (22年3月末)
基本(参照)ポートフォリオ	債券, 100% 全て非市場性 米政府証券	債券, 20% 株式, 49% 不動産、ヘッジ ファンド等, 29% 短期資産, 2%	債券, 35% 株式, 65%	債券, 40% 全て海外資産 株式, 60%	債券, 33% 株式, 65% 不動産、ヘッジ ファンド等, 2%	債券, 75% 株式, 20% 短期資産, 5%
	運用実績	2009年度 4.9% 直近5年平均 (2005-2009年度) ※年度末時点(相乗平均) 5.2% (1-12月)	25.2% 3.7% (4-3月)	14.9% 4.0% (4-3月)	25.5% 3.4% (4-3月)	20.4% 5.0% (API、歴年(1-12月))
国内の 株式市場	2009年度 42.7% 直近5年平均 (2005-2009年) ※年度末時点(相乗平均) 0.7% (NYダウ)	42.7% 0.7% (NYダウ)	38.0% 4.6% (S&P 100トータル指数)	51.3% 8.2% (ノルウェー OSE全株価)	62.2% 6.1% (OMXSストックホルム)	36.8%
	長期国債の 利回り ※ 出所: Bloomberg	2009年度末 3.8% 直近5年平均 (2005-2009年) ※年度末時点(相乗平均) 3.9% (USGG 10YR)	3.8% 3.9% (USGG 10YR)	3.6% 3.6% (GCAN 10YR)	3.7% 4.1% (GNOR 10YR)	3.2% 3.5% (SSGB 10YR)
為替市場	2009年度末 - 直近5年平均 (2005-2009年) ※年度末時点(相乗平均) - (米ドル)	- - (米ドル)	-19.4% -3.5% (米ドル/カナダドル)	-11.8% -1.3% (米ドル/ルウェー・クロネ)	-12.5% 0.4% (米ドル/スウェーデン・クロナ)	7.9% 1.6% (米ドル/円) ↓円高

※ 各基金のHPの数値を基に算出(22年3月末時点)。

(参考13) 資産別、パッシブ・アクティブ別ファンド数の推移

	平成13 年度末	平成14 年度末	平成15 年度末	平成16 年度末	平成17 年度末	平成18 年度末	平成19 年度末	平成20 年度末	平成21 年度末
国内債券	パッシブ	7	7	7	6	6	8	8	8
	アクティブ	15	13	13	14	11	11	11	10
国内株式	パッシブ	8	8	8	8	7	7	7	7
	アクティブ	27	17	19	17	15	15	21	21
外国債券	パッシブ	4	4	4	4	4	4	4	4
	アクティブ	6	4	7	7	7	7	7	7
外国株式	パッシブ	6	6	7	7	7	7	7	6
	アクティブ	18	11	13	15	15	13	15	14
合 計	パッシブ	25	25	26	26	24	24	26	25
	アクティブ	66	45	52	53	48	46	45	52
	計	91	70	78	79	72	70	71	80
解約等	-12	-22	-15	-6	-7	-2	-6	-12	-3
新規採用	15	0	23	7	0	0	7	21	0
資産管理機関	4	4	4	4	4	4	4	4	4

(注1) 平成13年度には、この他、アセットアロケーション調整ファンド(1社)に委託。

(注2) 解約等には、合併、事業移管等を含む。

(参考 1 4) 運用受託機関別運用資産額一覽表 (平成 2 1 年度末時価総額)

運用手法	運用受託機関名	契約形態区分	時価総額	
国内債券 アクティブ運用	MDAMアセットマネジメント	投資一任	12,715	
	住友信託銀行	投資一任	10,827	
	DIAMアセットマネジメント	投資一任	8,736	
	中央三井アセット信託銀行	投資一任	9,820	
	東京海上アセットマネジメント投信	投資一任	10,706	
	日興アセットマネジメント	投資一任	12,371	
	野村アセットマネジメント	投資一任	7,391	
	みずほ信託銀行	投資一任	12,679	
	三菱UFJ信託銀行	投資一任	10,933	
	りそな銀行	投資一任	9,348	
	自家運用 I	自家運用	73,647	
	自家運用 II	自家運用	35,498	
	住友信託銀行 I	投資一任	61,810	
	住友信託銀行 II	投資一任	35,454	
国内債券 パッシブ運用	中央三井アセット信託銀行 I	投資一任	54,132	
	中央三井アセット信託銀行 II	投資一任	35,440	
	ブラックロック・ジャパン (旧バークレイズ・グローバル・インベスターズ)	投資一任	61,839	
	みずほ信託銀行	投資一任	47,397	
	三菱UFJ信託銀行	投資一任	56,016	
	りそな銀行	投資一任	57,162	

運用手法	運用受託機関名	契約形態区分	時価総額
国内株式 アクティブ運用	アクサ・ローゼンバーク証券投資信託顧問	投資一任	190
	JPMオルガン・アセット・マネジメント I	投資一任	1,552
	JPMオルガン・アセット・マネジメント II	投資一任	1,705
	住友信託銀行 I	投資一任	2,159
	住友信託銀行 II	投資一任	2,336
	ソシエテジェネラルアセットマネジメント I	投資一任	2,223
	ソシエテジェネラルアセットマネジメント II	投資一任	2,018
	DIAMアセットマネジメント	投資一任	1,702
	大和住銀投信投資顧問	投資一任	970
	中央三井アセット信託銀行	投資一任	2,863
	東京海上アセットマネジメント投信	投資一任	1,633
	野村アセットマネジメント I	投資一任	2,584
	野村アセットマネジメント II	投資一任	208
	野村アセットマネジメント III	投資一任	2,379
	フィデリティ投信	投資一任	1,880
	ブラックロック・ジャパン (旧バークレイズ・グローバル・インベスターズ)	投資一任	2,554
	みずほ信託銀行	投資一任	2,239
	三菱UFJ信託銀行	投資一任	2,282
モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信	投資一任	2,478	
りそな銀行 I	投資一任	192	
りそな銀行 II	投資一任	342	

(単位:億円)

運用手法	運用受託機関名	契約形態区分	時価総額
国内株式 ハッジ運用	住友信託銀行	投資一任	17,704
	DIAMアセットマネジメント	投資一任	13,929
	中央三井アセット信託銀行	投資一任	13,780
	フラックロック・ジャパン (旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ)	投資一任	15,109
	みずほ信託銀行	投資一任	17,666
	三菱UFJ信託銀行	投資一任	19,091
	りそな銀行	投資一任	13,729
	アライアンス・バーンスタイン	投資一任	4,190
	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	投資一任	4,219
	東京海上アセットマネジメント投信	投資一任	4,052
	ヒムコジャパンリミテッド	投資一任	4,332
	フラックロック・ジャパン	投資一任	4,449
	みずほ投信投資顧問	投資一任	4,088
外国債券 ハッジ運用	モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信	投資一任	4,163
	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	投資一任	15,423
	住友信託銀行	投資一任	17,984
	ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ	投資一任	18,434
	フラックロック・ジャパン (旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ)	投資一任	20,115
外国株式 アグティブ運用	アクサ・ローゼンバーグ証券投資信託投資顧問	投資一任	965
	アライアンス・バーンスタイン	投資一任	993
	エムエフエス・インベストメント・マネジメント	投資一任	1,517

(単位:億円)

運用手法	運用受託機関名	契約形態区分	時価総額
外国株式 アグティブ運用	ガートモア・アセットマネジメント	投資一任	998
	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	投資一任	1,917
	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	投資一任	1,952
	ソシエテジェネラルアセットマネジメント	投資一任	2,451
	野村アセットマネジメント	投資一任	1,125
	BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン I	投資一任	974
	BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン II	投資一任	962
	フィデリティ投信	投資一任	1,003
	フラックロック・ジャパン (旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ)	投資一任	2,286
	プリンシパル・グローバル・インベスターズ	投資一任	993
	レグ・メイソン・アセット・マネジメント	投資一任	963
	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	投資一任	17,171
	ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ	投資一任	16,209
外国株式 ハッジ運用	フラックロック・ジャパン (旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ)	投資一任	32,070
	みずほ信託銀行	投資一任	15,896
	モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信	投資一任	16,014
	りそな銀行	投資一任	16,016
	自家運用	自家運用	17,277
小計		-	1,022,612
財投債	自家運用	自家運用	205,756
合計	28社81ファンド	-	1,228,368

(注1) 合計欄の28社には自家運用は含まれていないが、81ファンドには自家運用の4ファンドを含む。

(注2) 時価総額合計欄は、解約したファンドに係る配当についての未収金等は含んでいない。

(注3) 財投債の時価総額は、償却原価法による簿価額に未収収益を含めた額である。